

高齢者向けアンケート調査等の集計結果について

令和3年度から令和5年度までの3ヵ年を計画期間とする「横須賀市高齢者保健福祉計画(第8期介護保険事業計画を含む)」の策定資料とするため、アンケート調査を実施し、下記の結果となりました。

記

1 期 間

令和元年11月18日(月)から令和元年12月16日(月)

2 対象者および内容

①高齢者福祉に関するアンケート

要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握するため、国が市町村に実施を推奨している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に、市の独自質問を追加して実施

(対象者) 要介護1～5以外の高齢者 2,400名

(内 容) 高齢者の日常生活実態、地域とのかかわり、介護予防、認知症、
終末期医療など

②介護保険に関するアンケート

高齢者の適切な在宅生活の継続と家族等介護者の就労の継続の実現のため、介護サービスの在り方を検討するため、国が市町村に実施を推奨している「在宅介護実態調査」に、市の独自質問を追加して実施

(対象者) 要支援・要介護認定を有する高齢者 3,000名

(内 容) 介護サービスの利用状況、将来のサービス利用希望、介護者の就労状況など

③介護事業所アンケート

介護事業所としての意見を把握するため実施

(対象者) 市内指定介護事業所 548事業所

(内 容) 従業員数、従業員の不足感、採用者・離職者数、事業運営上の問題点、
外国人材の活用状況、介護ロボットの活用状況など

3 方 法

郵送により実施

4 結果

対 象	担 当	方 法	対 象 者	回答者数	回収率
①高齢者福祉に関するアンケート					
要介護１～５以外の 高齢者（要支援・事業 対象者・その他高齢者） ※１	健康長寿課	無記名	2,400 人	1,609 人	67.0%
②介護保険に関するアンケート					
要介護・要支援 認定高齢者※２	介護保険課	無記名	3,000 人	1,718 人	57.3%
③介護事業所アンケート					
介護事業所※３ （管理者等）	介護保険課	無記名	548 か所	396 か所	72.3%

【参考】 前回結果（第７期計画策定に向けたアンケート）

市独自で作成したアンケートを下記対象者に送付・回収しました。

対 象	担 当	方 法	対 象 者	回答者数	回収率
①高齢者福祉に関するアンケート					
一般高齢者 （要介護・要支援認定 者除く）	高齢福祉課	無記名	1,600 人	1,143 人	71.4%
②介護保険に関するアンケート					
要介護・要支援 認定高齢者	介護保険課	無記名	2,000 人	1,177 人	58.9%
③介護従事者アンケート					
介護従事者※	介護保険課	無記名	909 人	554 人	60.9%

※１ 要介護状態になるリスクやそれに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定することを目的とし、対象者の範囲を拡大しました。

※２ 要介護・要支援認定者を対象とします。ただし、在宅介護実態調査の設問については在宅の方のみに実施しました。

※３ 前回（第７期計画策定に向けたアンケート）では、介護事業所の職員（施設各５名、事業所各２名）を対象としましたが、今回（第８期計画策定に向けたアンケート）では介護事業所を対象とすることとし、管理者等に意見を聞きました。

高齢者福祉及び介護保険に関するアンケート調査（令和元年11月実施）自由意見

No	分 類	件 数		主 な 意 見
		① 高齢者 福祉	② 介護 保険	
1	高齢者保健福祉計画、 介護保険事業計画について	0	2	・よく理解できない ・今後の変化が計画にどのように反映されるか疑問
2	保険料・利用料・お金(家計) などについて	34	54	・負担が2割になり苦勞している ・年金だけで施設に入所できない ・利用料が年々高額となり経済的に苦しい ・保険料の負担が大きい ・生活に余裕がない
3	施設の整備・入所について	19	24	・特別養護老人ホームを増やしてほしい ・特養並みの低費用の施設が多くなるとありがたい ・民間の施設(有料老人ホーム等)は高くして入れない ・入所したくてもすぐ入所できない
4	介護事業者、介護サービス について	9	107	・ショートステイ・デイサービスを充実させてほしい ・在宅サービスの充実を希望する ・施設の介護者の人数が少ないと思う ・介護現場で働く人の待遇をよくしてほしい
5	地域包括支援センターに ついて	2	1	・地域包括支援センターを多数にしてほしい ・地域包括支援センターを知らない人が多い
6	認定手続き、訪問調査などに ついて	2	18	・認定について、生活状況をもっと加味してほしい ・認定結果を早くしてほしい
7	健康づくり、介護予防などに ついて	15	0	・介護予防の取り組みに力を入れてほしい ・もっと健康や介護予防について知りたい ・もっと地域に専門家を派遣してほしい ・相談やトレーニングができる場所がほしい
8	生きがい、楽しみなどについて	3	0	・高齢者には話をする場所や歌う場所が必要
9	地域の支え合いやコミュニティな どについて	10	3	・老人が集まれる場所が少ないと感じる。話相手がほしい ・市全体・町全体で、軽い認知症の人達を見守ってほしい ・地域だけで生活でき、自宅療養できる環境が必要 ・ひとり暮らしの高齢者の見守りをもう少ししてほしい
10	終末期医療などについて	7	0	・家族と話し合ってみたい ・最後まで家族と居たいが、負担がかかる ・回復の見込みがない時に入る施設を増やしてほしい ・延命は望まない
11	医療や病気などについて	2	8	・自宅で必要な介護サービスと医療が受けられるシステム が確立されることを望む
12	認知症高齢者について	5	3	・認知症の人を介護するために仕事を辞め、収入も時間 的余裕も無くなり辛い ・頑張って最後まで面倒を見たい
13	移動・移送・交通手段について	12	29	・介護タクシーを安くしたり、送迎してくれるサービスがほ しい ・高齢者が気軽に外出できるサービスを望む ・運転免許証の自主返納後の交通手段が足りない ・歩道が狭かったり、電柱が立っていたりして歩きづらい
14	介護、生活、家事、仕事などに ついて	18	26	・老老介護であり、いつまでできるか不安である ・介護に疲れ、自分でも心身ともくたくたになっている時が ある ・ほとんど自分の時間がない ・まだ働かないと生活できない

15	高齢者アンケートについて	11	15	・アンケートが複雑。目的がわからない ・文字が小さくて読みづらい ・認知症の設問は、症状の程度によって回答が変わってしまう ・75歳以上でアンケートをするべき
16	市の福祉サービスについて	14	21	・ごみ出しが難しい。支援があったら助かる ・自分の具合が悪い時に買い物をお願いできるサービスがあるとよい ・通院への付き添いなどのサポートを充実してほしい ・気軽に相談できる窓口が必要
17	介護保険制度全般について	9	52	・介護サービスの利用の仕方がわかりにくい ・災害時に施設へ問い合わせたが、手順を踏まないとNGと断られた ・高齢化の進行で制度がいつ変わってしまうか不安
18	市への意見、市役所への意見 (上記以外)について	19	66	・どのようなサービスがあるかもっと周知してほしい ・就労者も相談可能な窓口を週末に利用できるとありがたい ・施策は行政の側から積極的に働きかけてほしい
19	その他(私的なことなど)	22	67	私的なことその他、障害・生保等他の分野について(10件)や「特に無し」の回答
20	分類不能	3		主訴不明な回答(1件)、文字が解読不能な回答(2件)
21	将来の不安(上記以外)について	5	38	・今は大丈夫だが、介護者の具合が悪くなったらどうすればよいかわからない不安 ・夫婦で高齢のため、いつまで介護できるかわからない不安 ・子供に迷惑をかけたくない
22	感謝のことば等について	11	74	・ケアマネさんと施設の連携のおかげで大変助かりました ・デイサービスに通っていてありがたいと思う ・福祉のサービスに満足している
	合 計	232	608	

介護事業所アンケート（令和元年11月実施）自由意見

No	分 類	件数	主な意見
1	報酬・地域区分	38	・加算ではなく基本単位数が上がりなければ持続可能にはならない。 ・給与が安いという事で若い人材が横浜や東京に流れている。1単位当たりの単価を横浜と同等にすることで給与を上げて横須賀から人材を出さない取組みを検討することは可能か。 ・ケアマネは責任ばかり押しつけられ、報酬は上がらない現状で気力もなくなってしまう。 ・業務量と報酬が釣り合っていない。 ・介護報酬等事業所の収入が減ってきている現状で、職員の確保やサービスの向上等困難となっている。
2	特別給付	2	・加算というかたちで収められるのであれば、山の上に住んでいる利用者の対応をしているスタッフに還元できるので助かる。 ・横須賀市独自の加算を設けてほしい。
3	人材・給与	30	・職員を採用したいが、介護業界全体のイメージが悪く、ほとんど応募者がいない。 ・人手不足のため、サービス提供責任者は常勤のみにして欲しい。非常勤だと勤務時間も半分のため、書類作成等を行う時間が足りない。 ・介護人材バンクの設置をご検討いただきたい。 ・制度上、様々なサービスを創設しても、そこには対応可能な人材育成が追いついていないのが現状。 ・ぎりぎりの人数のため新規採用者に教える側に余裕がない。こんな中で外国人やロボットなどを使うのは至極、不可能に近いと考える。 ・介護は楽しいものとイメージ作りも大切と思う。 ・介護サービスに興味を持って下さる方々と人手不足の事業所とをマッチングするような仕組みがほしい。
4	行政・指導	46	・事業所の悪い点ばかり見ないで、良い点があれば評価して欲しい。 ・行政指導するにあたっては明確な根拠を示して指導にあたっていただきたい。 ・1日がかりの実地指導をやめていただきたい。 ・有益な研修会などを組み、目指すべきものの共有などを計っていただきたいと思う。 ・不明点を市に問い合わせたところ、対応した職員により答えが違っていた。ルールを統一して、どの職員が対応しても同じ答えにして頂きたい。 ・市独自のQ&Aの項目が細かすぎて気軽にサービスを利用することに抵抗がある。 ・市の主催の研修(事業所説明会や集団講習会)や説明会での内容が分かりづらい。

No	分 類	件数	主な意見
5	文書・煩雑	35	・書類が多すぎる。 ・書類の簡略化や、タブレットなどを使用しての仕事が出来る様な環境整備や補助があると良い。 ・サービスのにはもちろんのこと、帳票面でもAIを導入し、必要な帳票が簡単に均一化してできるようになればよいと思う。 ・加算取得の煩雑さを改善してほしい。
6	質の向上	4	・ケアマネに知識がない人が多く、困っている利用者の話をよく聞く。 ・介護職員の教育は法人や事業所ごとに任せるだけでなく、法定上の研修なども設けて、意識改革を試みるべき。
7	制度	37	・国が作った制度だけを運用していたら、対応ができないケースが今後は増大していく。 ・賃金アップに向けて、効率化に向けて制度の取り組みが必要だと考える。 ・全てをケアマネジャーに押しつけるのでは無く、行政からももっと介護保険制度について市民に伝えていく必要があると感じる。 ・ケアプラン作成の自己負担はしてほしくない。 ・ショートステイを利用する方が増えている分空きが出るので追加で利用されたい方たちの為にスポット利用を許可して欲しい。 ・今後の横須賀として在宅に重点をおくのか方向性を決め数年～10年後に横須賀市出自のモデル、サービス内容ができるとよい。
8	労働環境	2	・多くの人が介護業界で仕事がしたいと思える環境が整うことを切に願う。 ・暗黙の中での計画以上の必要なサービス支援に頼っているのが、現状である。
9	情報	4	・看護職のための合同就職・進学説明会に参加しましたが、場所、曜日、時間などの工夫が必要と感じた。 ・福祉部の各課間の情報共有や連携をもっと密にする時間を持ってもらいたい。 ・介護保険の制度について、市民啓発活動がもう少しあればと思っている。
10	医療	1	・ショートステイ先はいっぱいあるし空いていることも多くその点では、ご利用者家族の利用したいときにレスパイトできるので良くなったと思う。
11	利用者・家族	2	・困難ケースが多くなり、家族に振り回されたり対応に時間を要すようになっていく。
12	施設	4	・軽度者が入れる施設がない。 ・在宅でのサービスに力を入れてもらいたい部分もあるが、実際のところ家族は施設への入所を希望する人が多いと感じられる。
13	移動・外出	5	・特別搬送サービスから漏れてしまう外出困難者に対する支援の拡充により、生活の質が改善できると考えられる。 ・通院等乗降介助の支援をして下さる事業所が少なくなり困っている。
14	連携・交流	4	・単独で運営している事業所と法人で多機能を有する事業所では、事業展開に制限が生じている。 ・集団講習会で質問等を会場でさせてほしい。同じ事業所がどのようなことに悩み、事業を展開させているのか、共有したい。

No	分 類	件数	主な意見
15	施設修繕	3	・老朽化した施設の修繕や改修費用の支援をお願いしたい。 ・介護保険制度の見直しや設備への支援を期待している。
16	福祉	4	・ふれあいお弁当事業を復活してほしい。 ・布団丸洗いのサービスについて、回数を減らして、無料にしてほしい。
17	経営	8	・地域密着型のサービスは小規模での運営のため利用者の増減や介護度の変化によって大きく経営が左右されることが多い。経営を支えるような支援体制があるととても助かる。 ・業務を合理化し職員負担の軽減をめざしているが、小規模では経費がかさむ一方である。
18	総合事業	2	・要支援者の報酬を月額報酬制に戻していただきたい。 ・要支援者、事業対象者に対する地域での社会参加の場、健康増進の機会拡充を切望する。
19	介護認定	1	・認定調査の後、審査会等の決定が遅く困っている。認定結果の問い合わせを許可してもらいたい。 ・障害者の認定基準がゆるやかすぎている。
20	その他	1	・他の分野について(2件)
	合 計	233	